

住民運動が切り拓いた  
民主主義の新たな地平

ついでには、  
東北電力  
株式会社  
の用地です。  
無断立入を  
禁じます。

# 巻原発反対運動・住民投票資料

全10巻別冊1 B5判・上製本・総頁数4,680頁  
定価(本体240,000円+税)  
ISBN4-903763-00-5

## 戦後日本 住民運動 資料集成2

監修 埼玉大学共生社会研究センター

編集委員 宇井 純

菅井益郎 (国学院大学教授)

中村紀一 (筑波大学名誉教授)

丸山 尚 (元住民図書館館長)

道場親信 (日本大学非常勤講師)

藤林 泰 (埼玉大学助手)

解題 桑原正史 (原発のない住み、巻町をつくる会会員)

菅井益郎

中村紀一

すいれん舎

『巻原発反対運動・住民投票資料』の特長

# 1 日本初の住民投票(運動)の貴重な資料群

「巻原発・住民投票を実行する会」や「住民投票で巻原発を止める連絡会」等各団体の幹部などから提供されたチラシ、メモ、会議レジュメ、要望書、覚書など住民投票の軌跡をたどる貴重な資料を多数収録。

# 2 原発反対運動の詳細なドキュメント

反対運動にかかわったほとんどすべての団体を網羅。各団体の当事者や住民から提供された機関紙、チラシなどの資料類を1977年～2004年分まで掲載。

# 3 原発関係、住民投票関係議会議事録を収録

住民運動の代表が町長になった巻町。巻町議会議事録から原発関係、住民投票関係議事録を1969年～2002年分まで収録。

# 4 詳細な「資料総目次」と年表を別冊解題に付与

詳細な「資料総目次」と年表を作成、別冊解題に付与し、研究者の利便をはかった。

戦後民主主義の中で成  
国民運動でひとつの頂点  
各地の住民・市民運動、  
をみせ、70年代に入ると、  
高度成長を進める権力に  
新しい公共性を構築。あ  
残している。  
成は、彼らが発行したミ  
、運動の現代的意味を  
築きあげてきた野史の間  
である。



佐渡弥彦国定公園内の団結浜茶屋は海の家(浜茶屋)として里道とともに活用され、原発阻止の重要な役割を果たした。



共有地主会の母さんたち。棚瀬原発反対同盟との交流会で。



「団結浜茶屋」は原発予定地内に建設され、原発反対運動のシンボルになっていった。

Year	Event
1994	3
1993	6
1990	8
1987	10
1986	7
1986	8
1984	4
1984	4
1983	1
1982	9
1981	8
1980	6
1979	3
1979	2
1977	12
1977	12
1975	2
1972	1
1971	5
1969	12
1967	9
1966	8

## 巻原発反対運動・住民投票略年表 (\* 印収録)

観光開発の名目で土地買収始まる  
原発計画報道(新潟日報)  
\* 巻町議会「原発特別委員会」設置  
「原発阻止町民会議」発足  
「原発設置反対会議」発足  
「原発研究会」結成  
東北電力正式発表、県へ建設協力を申し入れ  
「五ヶ浜を守る会」結成、住民の99%が反対署名  
「五ヶ浜を守る会」副会長の阿部五郎治氏より塩田51坪を譲り受ける(共有地主所有地)  
五ヶ浜に原発反対派区長誕生  
村松町長巻原発反対会議と「安全性が確認されない限り、原発誘致しない」との確証書を交わす  
\* 巻原発反対共有地主会結成  
「原発から住民を守る諏訪の会」発足  
\* 巻町議会「原発誘致決議」強行採決  
電調審阻止、巻、柏崎原発阻止現地集會(角田浜)  
\* スリーマイル島原発事故(4/5 通産省抗議行動)  
「巻原発反対団結浜茶屋」完成  
\* 「反原発だより」創刊  
巻漁協漁業権放棄を決定(総額39億4000万円)  
\* 高野幹次郎町長が議会で「原発建設同意」を表明  
住民投票を求める署名活動開始(8/7)  
第一次公開ヒアリング反対闘争(8/28)  
町長交渉(12/5)住民投票を求める署名提出を取りやめる  
原子炉設置許可申請書提出される(1/22)  
「ついで原発―つなごう行動の輪を―反戦反核反原発民主県政をつくる県民のつどい」  
\* 「原発のない住みよき巻町をつくる会」結成  
町長選、慎重推進の長谷川要一初当選  
\* 「げんぼつほんたい町民新聞」創刊(反原発だよりを継承)  
\* 「つくる会会報」4号刊行(12号から「反原発通信」に名称変更)  
東北電力「巻原発計画を3年延期する」と発表  
チエルプイリ原発暴走事故  
巻町長選(8/3)佐藤莞爾「原発慎重」を唱え初当選  
\* 巻原発共有地主会10周年記念集会  
角海浜の墓地、東京高裁判決で町有地と確定  
町長選で、佐藤莞爾氏「原発凍結」を公約し再選  
\* 巻町議会、原発の早期着工促進を決議(17/2)  
\* 佐藤町長、原発推進(凍結解除)を表明

### 反原発通信

町長が原発推進を表明  
しかし 大丈夫 まだ間に合う

町民の不安は軽減されている  
町民の不安は軽減されている。町民の不安は軽減されている。町民の不安は軽減されている。

町民の不安は軽減されている  
町民の不安は軽減されている。町民の不安は軽減されている。町民の不安は軽減されている。

町民の不安は軽減されている  
町民の不安は軽減されている。町民の不安は軽減されている。町民の不安は軽減されている。

### 町民主体の町政を忘れ

交際費 600万  
食料費 370万

建設 施設整備に走る

これから?

町民主体の町政を忘れ  
町民主体の町政を忘れ。町民主体の町政を忘れ。町民主体の町政を忘れ。

町民主体の町政を忘れ  
町民主体の町政を忘れ。町民主体の町政を忘れ。町民主体の町政を忘れ。

住民投票で巻原発を止める連絡会に結集した各団体のチラシ、機関紙はミニコミとしての力を存分に発揮した。

## 《本シリーズの刊行趣旨》

わが国の民衆運動は、長し、60年安保反対の国を迎える。その後、全国消費者運動へと広がりを迎える。これら生活者の運動は高抵抗する中から、自らの膨大な活動の記録を戦後住民運動資料集ミニコミ類を忠実に復刻し考察すると共に、民衆の隙を埋めようとするもので

- ### 収録資料団体リスト(一部)
- 「巻原発を考える新潟市民フォーラム」実行委員会
  - 青い海と緑の会
  - 柏崎・巻原発設置反対新潟県民共闘会議
  - 原水爆禁止三条地区協議会 / 加茂市平和共闘会議
  - 原発のないくらしをつくる会
  - 原発のない住みよい巻町をつくる会
  - 原発問題を考える新潟大学連絡会
  - 子供の未来と原発を考える婦人の会
  - 住民投票・記念碑の会
  - 住民投票条例の実施を求める会
  - 住民投票で巻原発をとめる連絡会
  - 新潟県労働組合評議会
  - 西蒲燕地区労働組合評議会
  - 西蒲民主商工会
  - 巻原発・住民投票管理委員会
  - 巻原発・住民投票を実行する会
  - 巻原発設置反対会議
  - 巻原発と活断層を考える集い実行委員会
  - 巻原発反対「声」の会
  - 巻原発反対・県民アピール推進センター
  - 巻原発反対共有地主会
  - 巻原発反対町民会議
  - 巻原発を考える看護婦のネットワーク
  - 巻原発を考える新潟市民フォーラム

自主管理住民投票用紙

- 1997
  - 3/24 \* 巻町議会、電源立地対策課の廃止案可決(1996年12月議会では否決)、及び原発関係係費抜きの予算案可決
  - 5/9 \* 巻原発住民投票を実行する会、坂下町議の解職請求署名を始める。リコール成立、坂下町議失職
  - 8/30 \* 巻町長、住民投票の結果を守るため、予定地内町有地の一部を住民投票を実行する会の会員23人に売却
  - 11/17 \* 「げんぼつはんたい町民新聞」167号最終号
  - 12/18 \* 町有地売却訴訟、原告の原発推進側訴えは最高裁で棄却、これを受け東北電力は「計画断念」の声明
- 1999
  - 8/30 \* 巻町長、住民投票の結果を守るため、予定地内町有地の一部を住民投票を実行する会の会員23人に売却
- 2002
  - 11/17 \* 「げんぼつはんたい町民新聞」167号最終号
- 2003
  - 12/18 \* 町有地売却訴訟、原告の原発推進側訴えは最高裁で棄却、これを受け東北電力は「計画断念」の声明
- 2004
  - 6 \* 「反原発通信」最終号
- 1995
  - 2/5 開票、投票率45%、10387人が投票、内95%、9854人が反対
  - 2/20 \* 町有地売却を諮る臨時町議会、反対派の実力阻止で流会町議選(定数22名、立候補33名)で住民投票条例を制定を公約した12人が当選、後に2人が推進派に寝返る
  - 6/26 \* 町議会賛成11、反対10で住民投票条例が成立
  - 7/19 \* 住民投票条例公布(90日以内)に実施
  - 9/4 原発推進派町民が投票の先送りを求めて条例改正を求めて直接請求(2096名)
  - 10/3 \* 町議会条例改正案可決(10対10) 議長決裁、「住民投票は、町長が議会の同意を得て実施する」ことに改正
  - 10/27 \* 実行する会、佐藤町長のリコール(解職請求)運動の開始を宣言
  - 11/14 \* 町長リコールの署名活動開始
  - 12/8 実行する会1万2311人分のリコール署名を町選管に提出(12/8 高速増殖炉「もんじゅ」ナトリウム漏れ、火災事故発生)
  - 12/15 佐藤町長が辞職
  - 12/20 実行する会の笹口孝明代表が町長選出馬を宣言
  - 1/21 町長選で笹口氏当選
  - 3/4 \* 笹口町長が3月議会に7月7日投票実施を提案
  - 3/21 \* 町議会8月4日実施を可決(住民投票)に向かつて推進、反対運動活発化。とくに6月のお祭り以降両派の活動は激化。通産省資源エネルギー庁も推進PRに乗り出す
  - 8/4 \* 住民投票実施(投票総数: 2万5003票、投票率88.29%)、反対: 1万2478票、賛成: 7904票
  - 9/5 \* 町長資源エネルギー庁に出向き、電源開発基本計画からの除外を申し入れる。資源エネルギー庁長官会見を拒否
  - 1996
    - 3/21 \* 町議会8月4日実施を可決(住民投票)に向かつて推進、反対運動活発化。とくに6月のお祭り以降両派の活動は激化。通産省資源エネルギー庁も推進PRに乗り出す
    - 8/4 \* 住民投票実施(投票総数: 2万5003票、投票率88.29%)、反対: 1万2478票、賛成: 7904票
  - 1996
    - 1/21 町長選で笹口氏当選
    - 3/4 \* 笹口町長が3月議会に7月7日投票実施を提案
    - 3/21 \* 町議会8月4日実施を可決(住民投票)に向かつて推進、反対運動活発化。とくに6月のお祭り以降両派の活動は激化。通産省資源エネルギー庁も推進PRに乗り出す
    - 8/4 \* 住民投票実施(投票総数: 2万5003票、投票率88.29%)、反対: 1万2478票、賛成: 7904票
  - 1995
    - 2/5 開票、投票率45%、10387人が投票、内95%、9854人が反対
    - 2/20 \* 町有地売却を諮る臨時町議会、反対派の実力阻止で流会町議選(定数22名、立候補33名)で住民投票条例を制定を公約した12人が当選、後に2人が推進派に寝返る
    - 6/26 \* 町議会賛成11、反対10で住民投票条例が成立
    - 7/19 \* 住民投票条例公布(90日以内)に実施
    - 9/4 原発推進派町民が投票の先送りを求めて条例改正を求めて直接請求(2096名)
    - 10/3 \* 町議会条例改正案可決(10対10) 議長決裁、「住民投票は、町長が議会の同意を得て実施する」ことに改正
    - 10/27 \* 実行する会、佐藤町長のリコール(解職請求)運動の開始を宣言
    - 11/14 \* 町長リコールの署名活動開始
    - 12/8 実行する会1万2311人分のリコール署名を町選管に提出(12/8 高速増殖炉「もんじゅ」ナトリウム漏れ、火災事故発生)
    - 12/15 佐藤町長が辞職
    - 12/20 実行する会の笹口孝明代表が町長選出馬を宣言
    - 1/21 町長選で笹口氏当選
    - 3/4 \* 笹口町長が3月議会に7月7日投票実施を提案
    - 3/21 \* 町議会8月4日実施を可決(住民投票)に向かつて推進、反対運動活発化。とくに6月のお祭り以降両派の活動は激化。通産省資源エネルギー庁も推進PRに乗り出す
    - 8/4 \* 住民投票実施(投票総数: 2万5003票、投票率88.29%)、反対: 1万2478票、賛成: 7904票
    - 9/5 \* 町長資源エネルギー庁に出向き、電源開発基本計画からの除外を申し入れる。資源エネルギー庁長官会見を拒否

\* 青い海と緑の会結成

7 町長選で佐藤莞爾氏「原発推進」を公約し3選

8 町長選で佐藤莞爾氏「原発推進」を公約し3選

10/19 \* 「巻原発住民投票を実行する会」発足

11/27 \* 「住民投票で巻原発をとめる連絡会」結成

12 \* 町当局体育館等の使用を不許可、実行する会新潟地域に提訴

1/22 \* 自主管理投票開始(1/22/2/5)

2/5 開票、投票率45%、10387人が投票、内95%、9854人が反対

2/20 \* 町有地売却を諮る臨時町議会、反対派の実力阻止で流会町議選(定数22名、立候補33名)で住民投票条例を制定を公約した12人が当選、後に2人が推進派に寝返る

6/26 \* 町議会賛成11、反対10で住民投票条例が成立

7/19 \* 住民投票条例公布(90日以内)に実施

9/4 原発推進派町民が投票の先送りを求めて条例改正を求めて直接請求(2096名)

10/3 \* 町議会条例改正案可決(10対10) 議長決裁、「住民投票は、町長が議会の同意を得て実施する」ことに改正

10/27 \* 実行する会、佐藤町長のリコール(解職請求)運動の開始を宣言

11/14 \* 町長リコールの署名活動開始

12/8 実行する会1万2311人分のリコール署名を町選管に提出(12/8 高速増殖炉「もんじゅ」ナトリウム漏れ、火災事故発生)

12/15 佐藤町長が辞職

12/20 実行する会の笹口孝明代表が町長選出馬を宣言

1/21 町長選で笹口氏当選

3/4 \* 笹口町長が3月議会に7月7日投票実施を提案

3/21 \* 町議会8月4日実施を可決(住民投票)に向かつて推進、反対運動活発化。とくに6月のお祭り以降両派の活動は激化。通産省資源エネルギー庁も推進PRに乗り出す

8/4 \* 住民投票実施(投票総数: 2万5003票、投票率88.29%)、反対: 1万2478票、賛成: 7904票

9/5 \* 町長資源エネルギー庁に出向き、電源開発基本計画からの除外を申し入れる。資源エネルギー庁長官会見を拒否

# 五十嵐暁郎

(立教大学教授)

## 日本の住民投票の原点

新潟県巻町の住民は、今から十年前に日本で初めての本格的な住民投票を実現し、住民の意志で日本の原発建設を食い止めた。そこに至るまでの住民の努力と奮闘は、日本の民主主義の歴史に金字塔をうち立てたと言っても言い過ぎではない。

この運動は、他の住民投票運動もそうであるように、小さな町の普通の生活者たちの運動である。しかし、その運動の展開には、直接民主主義にかけるに至った人々の熱い思いや、それまでの生活で身につけた経験と知恵がずっしりと詰まっており、それを知るほどに感動が伝わってくる。

いま、住民投票は欧米や日本だけでなく、他のアジア諸国や南米、アフリカなど世界中で実行され、グローバルに展開している。巻町の住民投票運動の歴史は、これら世界の直接民主主義の歴史においても重要な位置を占めている。日本の住民投票の原点であるその歴史から、私たちは今後の民主主義や地域社会のあり方について多くの示唆を得ることができる。

推薦者  
(五十音順)

淡路剛久  
植田和弘  
木野 茂  
佐高 信  
芝村篤樹  
新藤宗幸  
寺西俊一  
西尾 漠  
船橋晴俊  
宮本憲一  
森まゆみ  
安田常雄  
安丸良夫

### 《販売対象》

環境関連学部学科/社会学部：環境社会学、社会運動、地域社会学

経済学部：環境経済学、経済史、財政学

法学部：不法行為、環境法、行政法、政治学、行政学、地方自治、公共政策

／農学部／水産学部／工学部

都道府県立図書館 市区立図書館

### 《戦後日本住民運動資料集成》

#### 既刊

- 1 復刻『草の根通信』1 定価(240,000+税) 2006年1月  
—環境権を求めて— 1号～205号(1989年12月号)
- 2 『巻原発反対運動・住民投票資料』 定価(240,000+税) 2006年12月  
—地域を守る・住民投票—

#### 刊行予定

- 3 『横浜新貨物線建設反対運動資料』 予価(240,000+税) 2007年11月  
—地域を守る—
- 4 『伊達火力発電所建設反対運動資料』 予価(240,000+税) 2008年11月  
—環境権を求めて—
- 5 復刻『草の根通信』2 予価(240,000+税) 2009年11月  
—環境権を求めて— 206号～380号(2004年7月号)

株式会社 すいれん舎

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-10 西村ビル5F  
TEL.03-5259-6060 FAX.03-5259-6070  
E-mail masato@suirensa.jp

取扱店